報道配布資料

平成26年9月30日

阪神高速　終日通行止めによるフレッシュアップ工事の実施について

阪神高速道路株式会社では、安全・安心・快適な道路サービスを提供し続けるため、以下の路線において、終日通行止めによるフレッシュアップ工事（以下、「フレッシュアップ工事」）を行います。

◆フレッシュアップ工事の実施路線

●通行止めの区間●

阪神高速12号守口線（環状線分合流部～国道1号接続部）　の上下線　　12.1km

※上記区間に関連する出入口及び近畿自動車道連絡線も通行止めとなります。

●通行止めの期間●

平成 26 年 11 月 26 日（水）午前 4 時～平成 26 年 12 月 4 日（木）午前 6 時（8昼夜連続）

は じ め に

阪神高速道路は、1号環状線の一部である湊町～土佐堀間が昭和39年に供用して以来、50年目を迎え、現在は、大阪・兵庫及び京都地区において営業延長が259．1kmに達しており、常に「安全・安心・快適」な道路を提供すべく、維持管理に努めております。

しかしながら近年、経年による老朽化や車両の大型化に伴い、道路構造物の損傷が顕在化しており、計画的な補修が必要となっています。阪神高速ではこれまで、これらの補修を通常の1車線規制だけではなく、短期間に数多くの工事を集中して実施することができ、交通影響・広報の分かりやすさなどで優れた「終日通行止め」による方法で大規模補修工事を実施してきました。大阪地区においては、1号環状線を含めた各放射路線で定期的に実施し、また、兵庫地区においては、平成20年度より3号神戸線を適切な区間に分割して実施しております。

今年度のフレッシュアップ工事は、前回からの経過年数、道路の損傷状況等を総合的に判断し、加えて関係機関と検討・協議を重ねた結果、阪神高速12号守口線（環状線分合流部～国道1号接続部間）において、大規模な補修工事が必要と判断し、今回公表の運びとなりました。

弊社といたしましては、阪神高速道路をご利用いただくお客さまをはじめ、沿道ならびに関係者の皆さまには、ご迷惑、ご不便をおかけすることとなりますが、関係機関のご協力を得ながら、フレッシュアップ工事を円滑に遂行するための対策に全力をあげる所存でございますので、何卒ご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆阪神高速１２号守口線　フレッシュアップ工事概要

通行止めの区間

●阪神高速12号守口線（大阪府道高速大阪守口線及び大阪市道高速道路森小路線）

・本　線　環状線分合流部～国道1号接続部　上下線　延長 12.1km

・入　口　（上り）南森町入口、長柄入口、都島入口、森小路入口、守口入口、守口入口（寝屋川BP）

（下り）扇町入口

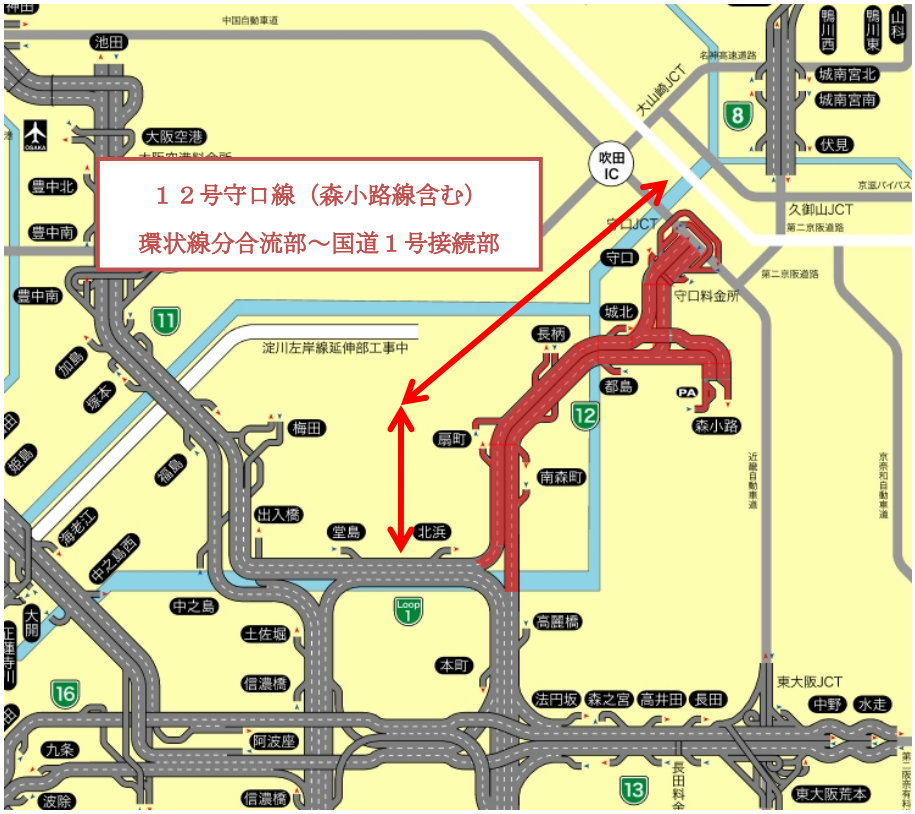
・出　口　（上り）南森町出口

（下り）扇町出口、長柄出口、城北出口、森小路出口、守口出口、守口出口（寝屋川BP）

・連絡線　近畿自動車道連絡線　出入

通行止めの期間

平成 26 年 11 月 26 日（水）午前 4 時～平成 26 年 12 月 4 日（木）午前 6 時（8 昼夜連続）



主な工事の概要

安全な道路サービスの提供（安全性の向上）

●出入口部の逆走等対策●

近年、増加傾向にある本線・出入口からの逆走及び誤進入に関しては、死亡事故が発生するなど、社会的な問題となっております。そこで、これらの防止策として以下の対策を実施します。

＜逆走防止用矢印＞

高速道路本線等からの逆走を防止するため、入口部において、進行方向を表示する矢印を設置します。

＜出口部誤進入等対策＞

高速道路出口部では、車両の逆走だけでなく、歩行者等の誤進入も発生しているため、路面に「高速出口」等の表示とともに、高欄部に高輝度反射シートを設置し、夜間帯における誤進入等の防止を図ります。

●カーブ区間の交通安全対策施設の更新●

事故の発生が懸念されるカーブ区間においては、カーブ区間であることの強調と警戒を目的として、高欄への垂直面表示や点滅灯等の交通安全対策施設を既に設置しています。今回のフレッシュアップ工事では、各カーブ区間での交通状況を考慮し、それら交通安全対策施設の見直しや更新を行います。

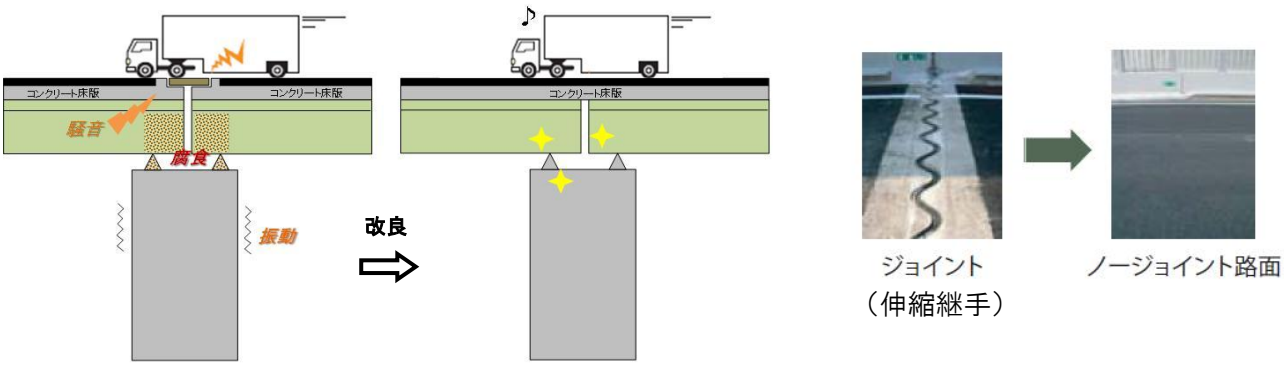
快適な道路サービスの提供（安全性・走行性の向上、沿道環境の改善）

●床版連結（鋼桁端部改良）●

従来、ノージョイント化は、鋼桁の主桁連結（隣接する主桁同士の連結）が可能なI桁が対象でしたが、コンクリート床版だけを連結する「床版連結」は、箱桁や桁の通りが一致しないなど、桁同士の連結ができない条件においても、ノージョイント化が可能となります。

ジョイントが無くなることで、路面走行性や安全性が向上するとともに、車両走行時の騒音、振動についても大幅な低減が期待されます。また、ジョイント部からの漏水が抑えられ、鋼桁端部の腐食に対する耐久性も向上します。

「床版連結」においては、従来から部分的に取り組んできましたが、今回のフレッシュアップ工事においても、ノージョイント化を推進します。

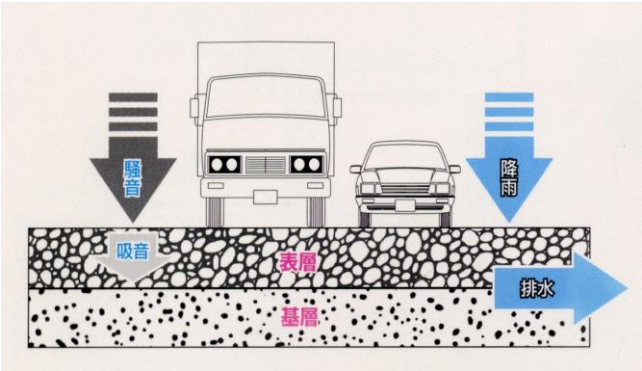


床版連結（鋼桁端部改良）によるノージョイント化の実現(騒音・振動の低減)

●舗装補修●

従来の舗装より路面の空隙を多く作ることにより降雨時の排水をスムーズに行い、また走行車両のタイヤと路面との摩擦音を軽減する高機能舗装の工事を行います。また、舗装を打ち替えた後、伸縮継手を取り替えることで段差修正し、走行性を向上させます。

舗装補修



高機能舗装への打換

●ミニPAのリニューアル●

お客様が安全・快適にご利用頂けるよう、今回のフレッシュアップ工事では、森小路ミニPAを「森の小さな散歩路(みち)」というコンセプトで森をイメージした外観とし、トイレ設備の更新、バリアフリーの充実、喫煙コーナーの整備等、少しでも多くのお客様にくつろいで頂けるようリニューアル工事を実施します。

完成イメージ図

通行止め工事による効果

●工事期間の大幅な短縮●

今回、阪神高速12号守口線で実施するフレッシュアップ工事で行う舗装・伸縮継手補修等を通常の車線規制工事で実施した場合、工事日数が約245日必要です。これらの工事は大きな音がするため、夜間には行うことができません。また、工事による交通流への影響が大きくなるため、平日に行うこともできません。したがって、これらの工事は休日の昼間に実施せざるをえず、通算すると約4年の期間が必要となりますが、フレッシュアップ工事では、これを8日間に集約して行います。

●社会的損失の大幅な縮減●

工事渋滞によるお客さまの時間損失は、通常1車線規制による工事と比較して、フレッシュアップ工事では約0．2億円の縮減効果、阪神高速道路のみの工事渋滞量にいたっては、約1／4に縮減する効果があります。

【通行止め工事による効果】

項　目	1車線規制工事(a)	通行止め工事(b)	(b)－(a)
規制日数	約245日(約4年)	8日	－
時間便益の損失額	26．9億円	26．7億円	▲0．2億円
阪神高速渋滞量	3，332km･h	846km･h	▲2，486km･h

交通影響予測

阪神高速12号守口線の平常日におけるご利用交通量は、約9．5万台/日となっています。フレッシュアップ工事を実施するにあたり、これまでの実績によれば、事前広報などで約20%の交通が車のご利用を取りやめると見込まれますが、残りの約7．6万台/日が阪神高速道路の他路線、他の高速道路及び一般道路へう回するものと予測されます。

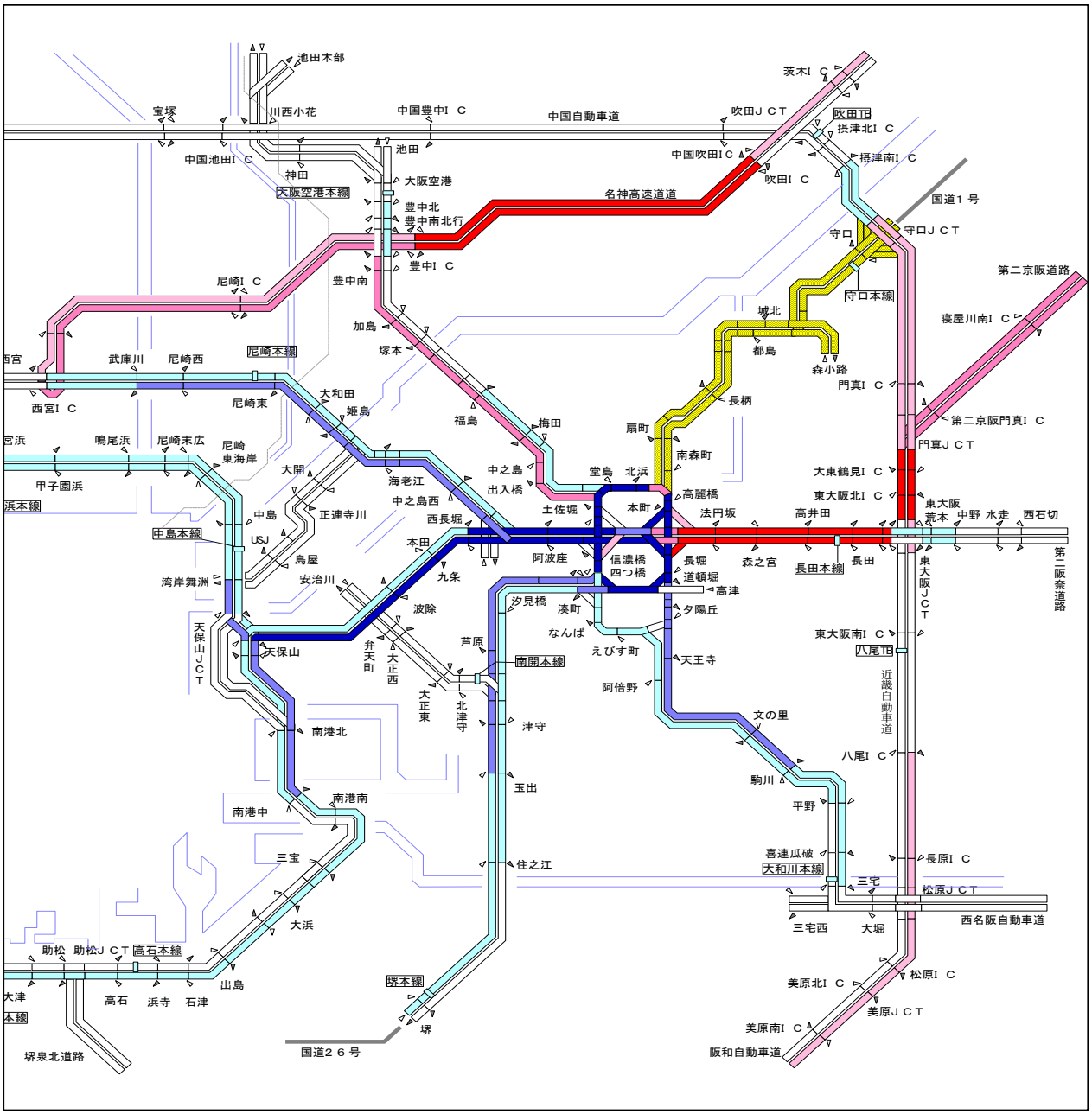
●阪神高速道路および他の高速道路　交通量増加の著しい路線●

阪神高速13号東大阪線（上り）	：	約　10千台/日の増加（法円坂～東船場 JCT）
阪神高速13号東大阪線（下り）	：	約　7千台/日の増加（森之宮～高井田）
阪神高速11号池田線（下り）	：	約　4千台/日の増加（福島～塚本）
名神高速道路（上り）	：	約　9千台/日の増加（豊中～吹田）
近畿自動車道（南行き）	：	約　8千台/日の増加（東大阪北～東大阪JCT）

●一般道路　交通量増加の著しい路線●

国道1号	：	約　6千台/日の増加（京阪本通1付近）
国道1号	：	約　5千台/日の増加（蒲生4付近）
大阪高槻京都線	：	約　7千台/日の増加（天神橋6付近）
天神橋筋	：	約13千台/日の増加（天神橋付近）
大阪中央環状線	：	約10千台/日の増加（大日付近）

●阪神高速道路および他の高速道路　交通量変化●



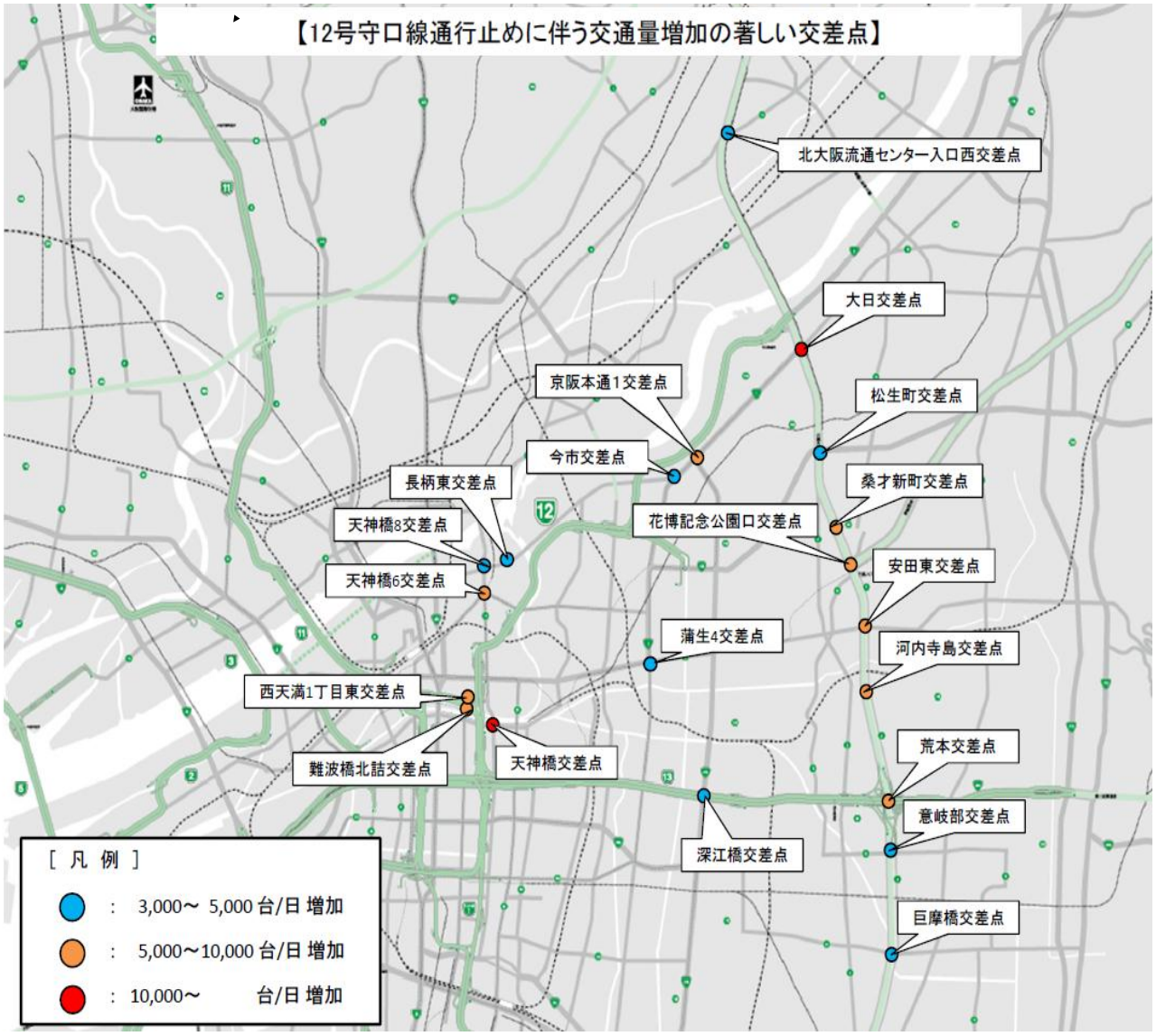
凡例

：△ 1000～△3000	：1000～3000
：△3000～△5000	：3000～5000
：△5000～	：5000～

●阪神高速道路および他の高速道路　主な渋滞発生箇所

路線	先頭	時間帯	渋滞長(km)(平日)	
			通常日	工事中
阪神高速1号環状線	北浜付近	8時ごろ	0	2.0
阪神高速13号東大阪線(下り)	東大阪 JCT 付近	8時ごろ	0	4.6
阪神高速16号大阪港線(上り) ～阪神高速13号東大阪線(下り)	東大阪 JCT 付近	17時ごろ	11.9	15.4
阪神高速11号池田線(上り)	北浜付近	8時ごろ	0	1.4
近畿自動車道(上り)	守口 JCT 付近	8時ごろ	5.0	7.2

●一般道路　交通量増加の著しい交差点●



データファイル

●作業人員と車両●

のべ作業人員　　約10，000人

のべ作業車両　　約6，000台

●工事内容●

工 事 内 容	単位	設備数量	工事数量	摘　要
1．安全性・走行性の向上 舗装補修及び伸縮継手補修による走行性・安全性向上 床版連結（鋼桁端部改良）による走行性・安全性の向上				
舗装補修	㎡	207,000	182,000	
（うち高機能舗装）	（㎡）	（103,000）	（134,000）	
伸縮継手補修（取替）	レーン	1,575	296	ｺﾞﾑ取替のみ含む
床版連結（鋼桁端部改良）	レーン	―	4	
2．周辺環境の改善 伸縮継手補修による舗装の段差修正 床版連結（鋼桁端部改良）による振動等の軽減				
伸縮継手補修（取替）	レーン	1,575	296	再掲
床版連結（鋼桁端部改良）	レーン	―	4	〃
3．サービスの向上 ミニPAのリニューアル（トイレ改修、バリアフリー対策等）及び視認性の高い案内標識・看板等の取替				
森小路ミニ PA 改修	式	―	1	期間前作業を含む
道路案内標識・看板等取替	式	―	1	〃
4．安全対策 出入口部の逆走・誤進入防止及びカーブ区間の交通安全対策				
出入口部の逆走等対策	箇所	―	13	
カーブ区間安全対策施設更新	箇所	―	11	
5．点検の実施 工事区間全線にわたる構造物の点検				
構造物点検	式	―	1	工事区間全線

◆通行止め実施に伴う対策

市民生活、経済活動への影響を最小限にするため、フレッシュアップ工事期間中はお車のご利用を極力控えていただき、電車・バス等の公共交通機関のご利用をお願いするとともに、以下の対策を講じます。

●お客さまへの広報●

ラジオ、テレビ、新聞、ポスター、リーフレット、ポケットティッシュ、横断幕、広報誌、インターネットホームページ（http://www.hanshin-exp.co.jp/）等による広報

●関係機関等への協力依頼●

①公共団体等への協力依頼

各道路管理者をはじめ、関係する地方公共団体へ工事抑制等の協力を依頼します。

②沿道の皆さまへの協力依頼

沿道の皆さまへ新聞の折り込みチラシ等により、ご理解とご協力をお願いします。

③沿道公共施設への協力依頼

沿道の学校、幼稚園、病院、ホテル等へポスター・チラシにより、ご協力をお願いします。

④各協会への広報

各協会団体を通じ、会員企業への周知を依頼します。

⑤運輸関係業界団体への協力依頼

飛行機・バス・タクシー・トラックの協会等に、期間中の対応についてご協力をお願いします。

●道路交通への対策●

①情報提供

道路情報板、道路情報ラジオ（1620kHz）、自動電話案内（愛ウェイダイヤル 06-6576-1620（大阪地区）／078-321-1620（兵庫地区）／06-6577-1620（英語））、道路情報ターミナル、VICS等で情報を提供するとともに、日本道路交通情報センター等へも協力を依頼します。

②阪神高速道路の交通制御

阪神高速道路の渋滞状況に応じて、一般道路の混雑状況も把握しながら、警察と協議のうえ、入口制御を実施します。

③混雑が予想される一般道路への誘導案内看板の設置

一般道路で混雑が予想される区間及びう回ルートにおいて、誘導案内看板を掲げ、交通の円滑化に努めます。

●工事情報提供ダイヤル等の設置●

フレッシュアップ工事に関する各種お問い合わせや、工事期間中の最新の道路交通情報を提供するため、阪神高速道路交通管制センターに専用電話を設置します(ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ0120－84－1620)。また、工事期間中は沿道の皆さまへの窓口として、通行止め現地本部を設置します。